

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業					
担当部課	総合政策部離島振興課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島12市町村	実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	① 農林水産物の輸送に要する費用の低廉化に関する事業 ⑦カ 奄美群島において製造された加工品の移出並びに生産される農林水産物及び製造される加工品に係る原材料等の移入に要する費用の低廉化に関する事業				交付率	7/10、5/10
事業内容	奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るため、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費の一部助成を行う					
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	当初予算	780,267	819,969	815,944	818,702	818,793
	補正予算	▲ 85,936	▲ 151,648	▲ 180,848	▲ 127,424	▲ 215,728
	前年度繰越					
	翌年度繰越					
	その他増減					
	計	694,331	668,321	635,096	691,278	603,065
	執行額	589,327	528,975	519,526	656,907	593,599
執行率	84.9%	79.1%	81.8%	95.0%	98.4%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(農林水産物、t数) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花卉、千本) ③奄美地域における製造品出荷額(百万円)				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標	—	—	① 55,481t ② 56,156千本 ③ 21,531百万円	—	① 55,512t ② 56,156千本 ③ 21,937百万円
	実績	① 44,154t ② 46,736千本 ③ 21,028百万円	① 39,863t ② 43,376千本 ③ 22,376百万円	① 34,509t ② 42,298千本 ③ 22,576百万円	① 25,461t ② 48,567千本 ③ 25,054百万円	① 30,940t ② 50,706千本 ③ 23,770百万円
	達成度	—	—	① 62.2% ② 75.3% ③ 105.0%	—	① 55.7% ② 90.3% ③ 108.4%
	達成状況の 評価	【R元年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。				
		【R2年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、コロナ禍の影響も有り出荷量が減少した。				
	【R3年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、農産物については、天候不良による収穫の遅れ、林産物、水産物については、新型コロナウイルスの影響により出荷量が減少した。					
	【R4年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。					
	【R5年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。					
今後の取組方針	奄振法の改正に伴い、令和6年度から、奄美群島ー沖縄間の輸送コストが支援の対象に追加されたほか、畜産物の移出対象品目への追加や生産支援に係る移入の対象品目数が3品目から5品目に拡大されるなど、制度拡充が行われた。今後、市町村等との連携を強化し、補助対象者の生産振興計画に基づいた取組の着実な実施による、生産振興や産業振興を図る。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航空運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業	交付率	6/10				
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	1,243,883	1,165,258	1,078,198	1,078,198	1,078,198
		補正予算	▲ 36,393	▲ 478,662	▲ 277,111	▲ 110,111	▲ 89,111
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
		計	1,207,490	686,596	801,087	968,087	989,087
	執行額	1,136,273	590,016	742,050	967,297	918,989	
執行率	94.1%	85.9%	92.6%	99.9%	92.9%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	—	677千人 (中間目標値)	—	721千人 (最終目標値)	
	実績	577千人	350千人	428千人	541千人	598千人	
	達成度	—	—	63.2%	—	82.9%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響もあり、対象路線における利用者数は対前年度比で減少となったが、引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は対前年度比で大きく減少したが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は63%であったが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。					
【R4年度】		新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加し、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。					
【R5年度】		対令和元年度比、対前年度比ともに増加したが、最終目標達成度は83%となった。引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。					
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航路運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	281,706	235,256	293,019	284,982	284,982
		補正予算	▲ 54,160	▲ 106,040	▲ 109,620	▲ 57,242	▲ 26,492
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
		計	227,546	129,216	183,399	227,740	258,490
	執行額	201,309	115,582	166,143	219,936	247,053	
	執行率	88.5%	89.4%	90.6%	96.6%	95.6%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	136千人	136千人	136千人 (中間目標値)	136千人	136千人 (最終目標値)	
	実績	125千人	63千人	76千人	100千人	113千人	
	達成度	91.9%	46.3%	55.9%	73.5%	83.1%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。)				
		【R2年度】	奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。				
		【R3年度】	奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は伸び悩んでいる。				
		【R4年度】	コロナ禍後、利用実績は回復傾向にあり、奄美群島住民等の負担軽減が図られているものの、未だコロナ禍前の水準までは回復していない。				
【R5年度】		コロナ禍後、利用実績は回復傾向にあり、奄美群島住民等の負担軽減が図られているものの、未だコロナ禍前の水準までは回復していない。					
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島誘客・周遊促進事業(R4～) ②奄美群島交流需要喚起対策特別事業(～R3)						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた入込客数の回復に加え、奄美群島全体への周遊促進、外国人観光客の受入、DX等新技術の活用等によりサステナブルツーリズムの推進を図る。 ②奄美群島の交流人口拡大に向けて、運賃等の移動コストの軽減に係る試験的取組等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	285,096	276,876	271,208	120,803	120,803
		補正予算	0	140,000	140,000	92,500	46,250
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
	計	285,096	416,876	411,208	213,303	167,053	
	執行額	263,363	395,458	391,421	212,800	166,550	
執行率	92.4%	94.9%	95.2%	99.8%	99.7%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	—	(航空)422千人 (航路)148千人 (中間目標値)	—	(航空)450千人 (航路)151千人 (最終目標値)	
	実績	(航空)338千人 (航路)109千人	(航空)171千人 (航路)54千人	(航空)273千人 (航路)62千人	(航空)371千人 (航路)82千人	(航空)377千人 (航路)93千人	
	達成度	—	—	(航空)64.7% (航路)41.9%	—	(航空)83.8% (航路)61.6%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響や、航空路では事業者の経営統合に伴い対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で減少となったが、通年での交流が図られた。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少したが、通年での交流が図られた。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少したが、対前年度は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は航空:65%、航路42%であったが、通年での交流が図られた。					
【R4年度】		対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、通年での交流が図られた。					
【R5年度】		対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、最終目標達成度は航空:83.8%、航路:61.6%であったが、通年での交流が図られた。					
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた広報宣伝等に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島持続可能な観光推進事業(R5) ②奄美群島周遊観光促進事業(R4)						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業		交付率	6/10			
事業内容	世界自然遺産登録によって観光客の増加が見込まれるなか、その効果を奄美群島全体に波及させるとともに、1島集中によるオーバーツーリズムを抑制するため、奄美群島国立公園のブランドイメージを創出し、各国の魅力を積極的にPRすることで群島内の周遊観光を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算				150,000	131,998
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	-	-	150,000	131,998
	執行額				149,975	131,983	
執行率		-	-	-	100.0%	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美大島を除いた4島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:千人]					377	
	実績 [単位:千人]				271	330	
	達成度					87.5%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
【R4年度】		世界自然遺産登録による観光客増加を奄美群島全体に波及させるため、各島の魅力をPRするとともに、旅行会社が造成・販売する奄美群島への旅行商品に対し、割引助成を行い、また東京、大阪及び福岡地域の駅構内等のモニターにおけるメディア広告も実施した。					
【R5年度】		世界自然遺産登録地域を含む奄美群島国立公園地域において、持続的なまちづくりを実現するため、持続可能な観光を推進し、群島全体の観光客数を確保するとともに、データの集積・分析・活用することで、奄美群島全体の活性化を図ることを目的とし、各島の持続可能な観光に関する取組を積極的にPRするとともに、旅行代金の割引を実施した。また、クーポン券を配布することで消費意欲にも繋げた。					
今後の取組方針	観光による持続的なまちづくりを実現するため、観光客の動態データの取得実証等を行い、奄美大島だけでなく、群島全体の観光客数を確保することで、奄美群島全体の活性化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島誘客・周遊促進事業(「奄美・沖縄」世界自然遺産登録観光連携事業)						
担当部課	PR観光課	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	世界自然遺産登録に向けてこれまで実施してきたルートづくりや自然環境の保全と持続的利用を考慮した情報発信ツールの整備を踏まえ、「世界自然遺産」を目的とした誘客や周辺地域への効果の波及を図るため、旅行商品造成の促進やプロモーションを沖縄県と共同で実施し、国内外からの持続的な誘客を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算				5,000	5,000
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	-	5,000	5,000	
	執行額				5,000	5,000	
執行率	-	-	-	100.0%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	関東、関西及び沖縄から奄美群島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標				293,101人	341,031人	
	実績				208,691人	244,574人	
	達成度				71.2%	71.7%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		これまで実施してきたルートづくり等を踏まえ、地元ガイド等と連携しながらWEBサイト及びイベントを活用したプロモーションや旅行商品造成の促進に取り組み、レスポンシブルツーリズムを推進した。また、世界自然遺産登録に伴うパンフレット等のツール及びWEBサイトに係るワンレポートシステムの構築を実施した。					
【R5年度】		日頃から「奄美・沖縄」に関心を持つ層及び世界自然遺産や自然へ興味・関心がある層に対して、「奄美・沖縄」WEBサイトを活用し各エリアの魅力発信を行うことで、来訪意欲を高めるとともにレスポンシブルツーリズムの推進へつなげることができた。					
今後の取組方針	令和5年度事業で提案されたペルソナ(奄美・沖縄や自然環境に興味・関心がある層)に対して、旅行促進につながるプロモーション等を検討・実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・沖縄連携交流促進事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島と沖縄という歴史的・文化的につながりの深い両地域における調和ある振興のために、移動コストを軽減し、両地域の住民等の交流を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	98,848	79,768	78,343	81,680	81,680
		補正予算	▲ 20,623	▲ 40,427	▲ 29,280	▲ 17,028	▲ 21,714
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
		計	78,225	39,341	49,063	64,652	59,966
	執行額	73,629	29,257	40,367	61,133	51,131	
	執行率	94.1%	74.4%	82.3%	94.6%	85.3%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	—	(航空)60千人 (航路)76千人 (中間目標値)	—	(航空)64千人 (航路)78千人 (最終目標値)	
	実績	(航空)74千人 (航路)62千人	(航空)36千人 (航路)22千人	(航空)46千人 (航路)27千人	(航空)67千人 (航路)43千人	(航空)80千人 (航路)50千人	
	達成度	—	—	(航空)76.7% (航路)35.5%	—	(航空)125.0% (航路)64.1%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響もあり、航路においては対象路線における利用者数は対前年度比で減少となったが、両地域の交流が図られた。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度比で大きく減少したが、両地域の交流が図られた。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は航空:77%、航路36%であったが、両地域の交流が図られた。					
【R4年度】		新型コロナウイルスの影響もあり、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加し、両地域の交流が図られた。					
【R5年度】		対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、最終目標達成度は航空:125.0%、航路:64.1%であったが、通年での交流が図られた。					
今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	水産資源利用開発調査						
担当部課	商工労働水産部 水産振興課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名					
事業分類	⑦-オ 林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の水産業振興を図るため、沿岸域で藻場造成や栽培漁業、ソデイカ漁を効率的に操業するための技術開発試験や調査等を行うとともに、地域水産物の鮮度保持技術の開発や未・低利用資源の加工品開発のための調査等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	6,207	4,040	3,270	2,670	2,670
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	6,207	4,040	3,270	2,670	2,670	
	執行額	6,146	3,450	2,499	2,668	2,670	
執行率	99.0%	85.4%	76.4%	99.9%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:百万円]	10,170		10,329		10,382	
	実績 [単位:百万円]	8,946	8,507	8,984	10,840	8,843	
	達成度	88.0%		87.0%		85.2%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約88%となった。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染拡大による需要低下がみられた。				
【R3年度】		新型コロナウイルス感染拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約87%となった。					
【R4年度】		新型コロナウイルス感染症の影響緩和による需要の増加がみられた。					
【R5年度】		豪雨等の自然災害や物価高等による飼料代の高騰などにより生産量が減少し、目標値の85.2%となった。					
今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美世界自然遺産保全・活用推進事業(R4～) ②奄美世界自然遺産「奄美」保全・活用事業(～R3)						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産室	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	⑦一エ 自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美の世界自然遺産登録後の適切な保全・管理に向けて自然環境の保全と利用の両立など必要な取り組みを推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算	110,977	135,754	52,077	53,114	45,392	
	補正予算	▲ 6,000	▲ 39,519	▲ 13,553			
	前年度繰越	64,960	52,260	45,328	5,234	17,176	
	翌年度繰越	▲ 52,260	▲ 45,328	▲ 5,234	▲ 17,176		
	其他増減						
	計	117,677	103,167	78,618	41,172	62,568	
	執行額	97,957	80,282	66,295	35,952	61,890	
執行率	83.2%	77.8%	84.3%	87.3%	98.9%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標		115人 (中間目標値)			160人 (最終目標値)	
	実績	109人	133人	147人	161人	176人	
	達成度	—	115.7%			110.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールや奄美トレイルのルート選定・開通イベント、世界自然遺産登録の気運醸成を図るためのシンポジウム、IUCNの現地調査対応等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。				
		【R2年度】	世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールや奄美トレイルの全線開通イベント(R3年1月全線開通)、世界自然遺産登録の気運醸成を図るため県庁前にPR看板設置、奄美空港にPR広告掲示等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。				
		【R3年度】	令和3年7月26日「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されたことから登録記念イベント等を行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を行うとともに世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールや外国人利用者に奄美トレイルの理解を深めてもらうために情報発信媒体の英訳を行うなど利用促進に取り組んだ。				
		【R4年度】	世界自然遺産登録の1周年を記念したイベントを行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を取りまとめた報告書(保全状況報告書)を提出するとともに、世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールや外国人利用者に奄美トレイルの理解を深めてもらうために情報発信媒体の英訳を行うなど利用促進に取り組んだ。				
		【R5年度】	世界遺産委員会からの要請事項への対応を図るとともに、金作原など保護が重要な地域における利用ルールや「世界自然遺産奄美トレイル」の認知度向上のため県観光サイトへの特集ページを作成、世界自然遺産に登録されている奄美大島、徳之島、屋久島の高校生を対象とした自然体験型交流学習などに取り組んだ。				
今後の取組方針	奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ駆除対策事業)						
担当部課	保健福祉部薬務課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア ハブ咬(こう)傷の予防及び治療に関する事業		交付率	5/10			
事業内容	住民の安全な生活環境を確保するとともに、世界自然遺産登録後の取組等も視野に入れ、ハブの個体群調査と人との関わり合いを調査し、計画的なハブの駆除方法と、ハブの棲み分け(共存)を検討する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	3,820	3,846	3,410	3,362	2,753
		補正予算		▲ 143	▲ 152	▲ 226	11
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	3,820	3,703	3,258	3,136	2,764	
	執行額	3,718	3,415	3,073	3,078	2,736	
執行率	97.3%	92.2%	94.3%	98.2%	99.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ハブ咬傷者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	55以下	55以下	45以下	45以下 (中間目標値)	45以下 (最終目標値)	
	実績	44	29	34	43	37	
	達成度	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	咬傷者数は44人で、目標を達成した。				
		【R2年度】	咬傷者数は34人で、目標を達成した。				
		【R3年度】	咬傷者数は29人で、目標を達成した。				
【R4年度】		咬傷者数は43人で、目標を達成した。					
【R5年度】		咬傷者数は37人で、目標を達成した。					
今後の取組方針	ハブ咬傷者数40人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ咬症対策事業)						
担当部課	保健福祉部薬務課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア ハブ咬(こう)傷の予防及び治療に関する事業		交付率	5/10			
事業内容	住人が安心して生活し活動するために、ハブの咬症及び治療対策に万全を期し、住民の保健医療の向上に寄与する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	17,098	4,347	1,302	5,101	5,225
		補正予算	▲ 4,426	▲ 173	▲ 114	▲ 216	▲ 110
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	12,672	4,174	1,188	4,885	5,115	
	執行額	12,518	3,953	946	4,746	5,092	
執行率	98.8%	94.7%	79.6%	97.2%	99.6%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	0	0	0	0 (中間目標値)	0 (最終目標値)	
	実績	0	0	0	0	0	
	達成度	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
		【R2年度】	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
【R3年度】		ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
【R4年度】		ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
【R5年度】		ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援推進事業						
担当部課	農政部農政課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	—				
事業分類	農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美地域の食文化を支える伝統野菜や果樹の生産性向上を図り、供給力を高めるとともに、農家の所得向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算	563	642	650	722	757	
	補正予算						
	前年度繰越						
	翌年度繰越						
	その他増減						
	計	563	642	650	722	757	
	執行額	553	606	603	641	627	
執行率	98.2%	94.4%	92.8%	88.8%	82.8%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	① 奄美の伝統野菜 葉にんにくの生産性向上(単収増加) ② 奄美の島野菜 島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③ 奄美プラム(カリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	—	① 810kg/10a ② 700kg/10a ③ 27ha	① — ② — ③ 27ha	① 920kg/10a ② 900kg/10a ③ 30ha	
	実績	—	① — ② — ③ 29.7ha	① — ② — ③ 31.7ha	① — ② — ③ 33.8ha	① 922kg/10a ② 957kg/10a ③ 33.8ha	
	達成度	—	—	① — ② — ③ 117.4%	① — ② — ③ 125.2%	① 100.2% ② 106.3% ③ 112.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖及び奄美プラム新系統の早期育成方法試験用の苗木植栽・各種調査、高品質果実生産技術検討のためのほ場選定等を行った。令和元年度については、アウトカム指標の実績となる数値なし。				
		【R2年度】	葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうの優良系統の選抜を行った。アウトカムの実績となる数値なし。 奄美プラムは、台木に穂木を次いで363本植え付けた(2.0ha:18本/10aで積算)。				
【R3年度】		葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地供給予定のため、R3年度はアウトカム指標の実績となる数値なし。 奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台木に穂木を次いで355本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。					
【R4年度】		葉にんにく及び島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地供給予定のため、アウトカム指標の実績となる数値なし。 奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台木に穂木を接いで377本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。					
【R5年度】		葉にんにく及び島らっきょうの優良系統のウイルスフリー苗は、いずれも在来系統より増収することを認めた。 奄美プラム(大玉系統)の施肥試験により、開花不良を軽減できる施肥体系等の試験結果が得られ、生産安定対策マニュアルを作成した。					
今後の取組方針	マンゴーでは、気象条件等により島外へ出荷できなくなる流通条件の不利性、えだまめでは重粘土壌における栽培の不安定性がそれぞれ課題となっており、改善に向けた検討を行う必要がある。このため、出荷調整を行いやすいマンゴーの品種の検討や、重粘土壌におけるえだまめの栽培技術の確立を行い、出荷の安定化や生産安定・拡大を図るとともに農家所得の向上を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入等支援事業)						
担当部課	農政部農産園芸課	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	②農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算			31,830	33,840	37,093
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	31,830	33,840	37,093	
	執行額			30,569	31,713	31,590	
執行率	-	-	96.0%	93.7%	85.2%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	適期管理による単収の向上(kg/10a)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			5,737	5,737	5,737	
	実績			5,333	5,231	5,217	
	達成度			92.3%	91.2%	90.9%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。				
【R4年度】		機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。					
【R5年度】		機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。					
今後の取組方針	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に新規機械導入や機能向上の支援を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美パーク展示等リニューアル事業						
担当部課	観光・文化スポーツ部PR観光課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名					
事業分類	④観光客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の観光・情報発信の拠点施設である奄美パークについて、世界自然遺産登録を見据えた改修を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	-	15,982	-	-	122,733
		補正予算	120,000	153,983	54,250	-	-
		前年度繰越	131,642	120,000	167,049	92,660	-
		翌年度繰越	▲ 120,000	▲ 167,049	▲ 92,660	-	▲ 80,933
		その他増減					
	計	131,642	122,916	128,639	92,660	41,800	
	執行額	131,165	122,515	111,066	89,007	41,790	
執行率	99.6%	99.7%	86.3%	96.1%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標				810千人 (中間目標値)	1,000千人 (最終目標値)	
	実績	917千人	602千人	692千人	749千人	984千人	
	達成度	—	—	—	92.5%	98.4%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	目標を達成しているが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
【R4年度】		新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
【R5年度】		わずかに目標を達成できなかったが、奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。					
今後の取組方針	奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村、営農集団等	実施市町村名	奄美市外7町				
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10、6/10	
事業内容	奄美群島の特性に即した農業振興のため、付加価値の高い農業の推進と、台風災害に強い施設等の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	164,383	451,663	174,238	53,911	302,046
		補正予算	456,499	40,753	230,478	0	174,879
		前年度繰越	0	473,928	421,000	441,784	68,461
		翌年度繰越	▲ 473,928	▲ 421,000	▲ 380,274	▲ 50,210	▲ 273,157
		その他増減					
		計	146,954	545,344	445,442	445,485	272,229
	執行額	141,386	351,694	342,494	445,339	271,096	
	執行率	96.2%	64.5%	76.9%	100.0%	99.6%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:百万円]	36,942	39,052			40,636	
	実績 [単位:百万円]	30,188	32,485	32,821			
	達成度	82%	83%				
	達成状況 の 評価	【R元年度】※目標値は平成28年度数値 平成30年度(29,118百万円)に比べ、103.6%に増加したものの、基準値の82%となった。引き続き本事業により、付加価値の高い農業と、台風災害に強い施設等の整備を推進し、農業算出額の増加を図る必要がある。					
		【R2年度】 令和元年度に比べ、107.6%に増加したものの、基準値の83%となった。引き続き本事業の推進により農業算出額の増加を図る必要がある。 また、新型コロナウイルスの影響等により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和元年度に比べ低くなっている。					
【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和2年度同様低くなっている。							
【R4年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、前年度より繰越した事業の執行に努め、執行率は改善している。							
【R5年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 年度内での事業の執行に努め、99.6%と高い執行率となっている。							
今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	魅力ある観光立島促進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	世界自然遺産登録などの機運をしっかりとらえ、今後の持続可能な離島振興のため、奄美重点3分野の一つである「観光・交流」について官民が連携して誘客・受入体制強化に取り組む。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算				9,400	9,581
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	—	—	9,400	9,581	
	執行額				7,132	9,480	
執行率	—	—	—	75.9%	98.9%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美大島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]				420,000	530,000	
	実績 [単位:人]		311,000		414,798	493,531	
	達成度				98.7%	93.1%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		新型コロナによる行動の規制が続く中、令和3年の世界自然遺産登録や国の旅行支援等の実施により、奄美大島への入込客数は持ち直しており、観光客受け入れ体制の充実に向け、インバウンドの受入体制及び新たな旅のスタイルとして需要が高まったワーケーションの受入体制の整備に対する助成等を行った。					
【R5年度】		クルーズ船寄港回数がコロナ禍以前の水準に回復。昨年に引き続き、増加する外国人観光客やワーケーション需要に対応できるよう、多言語化やWifi整備に対する助成等を行った。					
今後の取組方針	新型コロナによる行動制限が解除され、入込客数も回復傾向であることから、今後はこれまで実施してきた受入体制整備を活かしながら、貴重な自然環境について周知、理解を促進することで、環境の保全と利用の両立を図り、インバウンドも含め、誰もが楽しめる観光を目指し、その推進に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①大和村国直地区:体験事業(R5) ②大和村観光機能向上事業(~R4)						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度~令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	「宿泊」「食事」「体験」という観光コンテンツが三身一体となり、魅力ある集落地域性を活かした総合型観光メニューを創出することで、観光訴求力を向上させ、交流人口の増加を促進することで、観光事業者の自立的成長を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算			8,000	8,000	10,889
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	8,000	8,000	10,889
	執行額			8,000	8,000	9,000	
	執行率	-	-	100.0%	100.0%	82.7%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	体験事業・交流イベント開催による受入人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			2,500	2,500	3,000	
	実績 [単位:人]			2,100	975	1,152	
	達成度			84.0%	39.0%	38.4%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	コロナ禍において、積極的な観光受入が出来ない状況下に出ることとして、アフターコロナを見据えた観光情報発信に努めるとともに、実際に来訪した際に活用される集落歩き案内看板の設置等を実施した。				
【R4年度】		コロナ禍の影響により、積極的な受入ができない状況から、アフターコロナを見据えた観光情報の発信と集落歩き看板の設置を行った。 また、外貨獲得を図るため、加工品の商品パッケージ作成を実施した。					
【R5年度】	アフターコロナによる誘客を促進するため、観光情報発信及び集落マップデザインの作成を行うとともに、観光誘客キャンペーンを実施することにより、宿泊と体験を結ぶ取組が展開できた。						
今後の取組方針	令和6年度、奄美大島発の天然温泉複合施設が本村に開園され、今後観光客の増加が期待されることから、本村の情報発信による誘客の促進と観光外貨を稼ぐため、温泉施設と村内宿泊・体験を有機的に結ぶ取り組みを加速させることにより、地域循環の観光振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	持続可能な観光による地域デザイン計画策定事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	宇検村内の観光事業関係者及び住民代表者と連携し、地域資源の発掘や問題点の整理を行い、10年先を考察した村民総意の観光計画書を作成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算				4,500	4,500
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	4,500	4,500
	執行額				4,500	4,500	
	執行率	—	—	—	100.0%	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	宇検村の観光拠点施設への訪問者・問合せ数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			38,000		40,000	
	実績 [単位:人]	37,373			37,441	35,375	
	達成度					88.4%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		イベントの開催などにより積極的な誘客活動も行われており、施設の知名度向上に繋がっている。					
【R5年度】		単独で運営していた関係競技会組織を再編成して1本化し、「宿泊」「食事」「体験」の関係者間の連絡及び協力体制が強化されている。					
今後の取組方針	村観光物産協会を中心とした様々なイベントの開催による誘客活動を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	フローラルちな新商品開発事業						
担当部課	－	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	地元食材を活用した新商品開発による来島者の滞在満足度向上及び地域活性化を図るとともに、イベントや物産展の開催による販路拡大及び知名町及び沖永良部島のPRを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					4,480
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	－	－	－	－	4,480	
	執行額					3,728	
執行率	－	－	－	－	83.2%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける滞在満足度指標					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標					4.2	
	実績					4.9	
	達成度					116.7%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】		目標値を上回る数値となり、本事業の成果目標は達成したと評価できる。					
今後の取組方針	当初は単年度事業として本事業を実施したが、想定を超える応募数があり、事業実施後も町内にて需要が高まっていることから、令和7年度以降に継続して実施していく予定である。新商品開発を行うことによる地域経済の活性化及び滞在満足度向上に今後も努めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	デジタルマーケティング事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	動画広告を活用したデジタルマーケティングを実施し認知度の向上を図るとともに、訴求力の高い情報コンテンツを制作・配信し、ターゲットに合わせて効果的で持続性・発展性のある誘客プロモーションを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算				12,113	12,300
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	—	—	12,113	12,300	
	執行額				12,113	12,349	
執行率	—	—	—	100.0%	100.4%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			80,000		90,000	
	実績 [単位:人]				51,258	59,043	
	達成度					65.6%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。また、町民を対象に撮影技術講習やSNSマーケティング講座、SNSにおけるトラブルへの対処法・予防法講座を開催し、自発的な情報発信や写真動画作成技術の底上げを図った。					
【R5年度】		冬場のヨロン島を宣伝する観光PR動画の制作及び制作動画等の広告配信を実施。加えて、冬場に開催されるイベント(十五夜踊り、ヨロンマラソン)に関する動画配信やインスタライブの実施により、冬場のヨロン島の魅力発信に繋がった。					
今後の取組方針	令和6年度以降も年間を通じた来訪誘客を図るため、冬場のヨロン島の魅力発信に努めるとともにヨロンファンを対象としたアンケート調査や座談会を実施し、冬場のヨロン島に求められている魅力等の把握に努めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島地域資源活用事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	星空等をテーマに全国から関係団体を誘致してイベントを開催。また、広告宣伝等のプロモーションを実施し、広く全国に情報発信を行うことで、星空ツーリズム等の新しい客層及び新規旅行客の誘客による入込増を図るとともに、大気環境や自然環境保全の機運を高め持続可能な観光発展を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算		8,000	4,000	3,000	3,000
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	8,000	4,000	3,000	3,000	
	執行額		5,900	3,000	3,000	3,000	
執行率	—	73.8%	75.0%	100.0%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	星空等ツアープログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]			5		10	
	実績 [単位:件]		2	5	5	10	
	達成度			100%		100%	
	達成状況 の 評 価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響によりイベント開催や誘客を図ることができなかった。一方でコロナ収束後を見据えたガイド育成、より美しい星空を見るため防犯灯の改良などの光害対策や住民の意識高揚を図るための観望会などを開催した。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響によりイベントや研修等が実施できなかったものの、ガイド育成やPR活動、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。					
【R4年度】		HPによるツアー販売の実施、ガイドスキルアップ講座、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。					
【R5年度】		ガイドスキルアップ講座、新規ガイド育成講座、星空観望会や星空関連イベントを通じた光害の啓発、会報誌の配布等を実施したことで、島民への意識情勢や旅行客の誘客に繋がっている。					
今後の取組方針	令和6年度以降も星空観望会や会報誌の配布等を通じた光害の啓発及び意識情勢を図るとともに、ガイド育成講座によるガイド数の確保やツアープログラムの造成を図ることで、旅行客の誘客及び持続可能な観光地づくりに努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	地域商品券付旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	本町では、Withコロナ下に対応したエコツーリズムや星空ツーリズム等の商品造成を行っている。また、これまでの短期滞在型の観光スタイルからワーケーション等と絡めた長期滞在型の観光スタイル間滞在する来島者が町内で活用できる地域商品券を付与し、滞在泊数の増加を促す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					8,000
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	-	-	8,000	
	執行額					8,013	
執行率	-	-	-	-	100.2%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論町への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標					90,000	
	実績					59,043	
	達成度					65.6%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】		一定の宿泊日数以上滞在する来島者へ町内の体験プログラムで利用できる地域商品券を付与し、体験プログラムの利用促進や認知度向上、滞在日数の増加による地域経済の活性化に繋がった。					
今後の取組方針	令和6年度以降も地域商品券の付与による体験プログラムの利用促進や滞在泊数の増加による地域経済の活性化に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外7町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光レクリエーション施設等の園地整備等を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	157,362	481,275	640,187	806,869	102,273
		補正予算	76	2,018	134,500	360,820	666,867
		前年度繰越	325,174	399,832	328,076	404,974	941,247
		翌年度繰越	▲ 399,832	▲ 328,076	▲ 404,974	▲ 941,247	▲ 1,062,480
		その他増減	0	3,578			
		計	82,780	558,627	697,789	631,416	647,907
	執行額	460,298	556,733	666,607	576,565	654,527	
	執行率	556.0%	99.7%	95.5%	91.3%	101.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		887,895			950,000	
	実績 [単位:人]	891,351	517,192	556,716	685,944	823,238	
	達成度		58.2%			86.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
		【R3年度】	コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
【R4年度】		入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。					
【R5年度】		入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。					
今後の取組方針	アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	アマミノクロウサギ飼育展示施設の整備等を実施し、観光旅客の受入体制の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	7,083	60,400	2,500	473,496	44,356
		補正予算	0				305,000
		前年度繰越	0	0	56,000	0	470,746
		翌年度繰越	0	▲ 56,000		▲ 470,746	▲ 654,137
		その他増減	0				
		計	7,083	4,400	58,500	2,750	165,965
	執行額	7,083	4,400	53,769	2,750	165,965	
	執行率	100.0%	100.0%	91.9%	100.0%	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	10,500		15,000	15,000	20,000	
	実績 [単位:人]	10,484	7,284	7,445	9,214	11,209	
	達成度			49.6%	61.4%	56.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	施設整備の目的について文化庁、環境省と事前協議を行い、整備について概ね了承を得た。また、クロウサギについての有識者会議を開催し基本方針について検討した。				
		【R2年度】	有識者会議を開催し、「大和村アマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)設置運営に係る基本計画」を策定した。それに基づき、ポーリング調査及び建築実施設計をR3年度にかけて実施中。				
【R3年度】		ポーリング調査、建築実施設計及び展示実施設計を実施。観光旅客の受入に向けて施設整備が進んだ。					
【R4年度】		建築工事に着工した。併せて施設内で販売するお土産の商品開発を実施し、地域の民間業者と施設との繋がりができた。					
【R5年度】		引き続き、建築工事にあたった。施設に必要な人材の確保、施設名やロゴの制作にあたった。					
今後の取組方針	展示工事に着手する。また、R7年4月開所を目指し、クロウサギ飼育に係る法令順守手続きや施設の管理運営に係る具体的な検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	加計呂麻島ターミナル整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	加計呂麻島の玄関口である瀬相集落のターミナル施設を、観光、交流、物流の機能を備えた施設として整備し、加計呂麻島内における交流・関係人口の増加と滞在促進に繋げることを目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算			16,000		
		補正予算					301,922
		前年度繰越		0	0	16,000	0
		翌年度繰越			▲ 16,000		▲ 301,922
		その他増減					
		計	-	-	0	16,000	0
	執行額				16,000		
	執行率	-	-	-	100.0%	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①加計呂麻島への入込客数(交流人口) ②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	①46,736 ②50,000				①50,000 ②53,000	
	実績 [単位:人]			①38,474 ②40,000	①40,157 ②41,926	①41,507 ②43,000	
	達成度			-		①83.0% ②81.1%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	R4年度へ繰越(新型コロナウイルス感染拡大による、加計呂麻島来島自粛等によって、入込客数及び既存施設の利用者数が減少した)				
		【R4年度】	前年度と比較し入込数が回復し増加している状況であるが、現在、施設建設に必要な地質調査及び実施設計を完了したところであるため、施設完成後において達成度の評価を行うこととしている。				
		【R5年度】	当該事業期間は令和3年度から令和7年度までの5年間と計画しており、事業評価についてはターミナル完成及び駐車場整備完了後(令和7年度)の達成度の評価を行うこととしている。				
今後の取組方針	令和5年度の補正予算を活用し、施設建設に取り組んでいるところである。施設の完成については令和6年度末を予定し、旧待合所の解体及び駐車場整備については令和7年度を予定している。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町観光拠点施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	旧東天城地区への「ひとの流れを創出」し、交流人口拡大と地域活性化を図るため、世界自然遺産登録地でもあり、国立公園の特別保護地区を含む山クビリ林道の近くに位置する花徳地区において体験・交流型の観光拠点施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算				43,525	3,999
		補正予算				360,820	59,945
		前年度繰越	0	0	0	0	365,713
		翌年度繰越				▲ 365,713	▲ 59,945
		その他増減					
		計	—	—	—	38,632	369,712
	執行額				38,631	368,764	
	執行率	—	—	—	100.0%	99.7%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	拠点施設の管理運営に係る運営推進事業受講者					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]					12	
	実績 [単位:人]					11	
	達成度					91.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		令和4年度について、ハード面では施設の設計や造成工事等を行い、ソフト面では拠点施設管理運営計画を策定した。					
【R5年度】		令和5年度について、ハード面では施設の整備や外構工事(一部)を行い、ソフト面では管理運営を担う人材育成事業を行った。					
今後の取組方針	令和6年度について、ハード面では外構工事含め整備を完了させ、ソフト面ではオープンに向け、管理運営を担う人材育成事業を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新たな観光案内道標設置整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	和泊町	実施市町村名	和泊町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	過去に整備された旧式の観光案内板を撤去し、QRコード等をモバイルで読み込むことで、現在位置情報や目的地の概要・到達経路等の位置情報を取得できる機能を導入した観光案内道標を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					20,500
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					▲ 20,500
		その他増減					
	計	-	-	-	-	0	
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標				4.0	4.2	
	実績					3.7	
	達成度					88.1%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】 ※令和6年度へ繰越							
今後の取組方針	整備されて10年以上となり、経年劣化や破損等がみられる既設観光道標を撤去し、新たな観光道標を設置することにより、来島者の利便性向上につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新たな観光案内道標設置整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	過去に整備された旧式の観光案内板を撤去し、QRコード等をモバイルで読み込むことで、現在位置情報や目的地の概要・到達経路等の位置情報を取得できる機能を導入した観光案内道標を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					33,418
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					▲ 25,976
		その他増減					
	計	-	-	-	-	7,442	
	執行額					7,444	
執行率	-	-	-	-	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標				4.0	4.2	
	実績					3.9	
	達成度					92.9%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】		当初、令和5年度内に観光案内道標を設置予定であったが、道標の設置工事を翌年度に繰越して実施することとなったため、指標としては目標に達しなかった。					
今後の取組方針	令和5年度において発注した実施設計業務の成果物を基に、令和6年度において道標の設置工事を発注し同年度内に完了予定。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	佐仁地区休憩施設整備						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	北部地域に新たに休憩施設を整備し、観光ルートの確立、観光交流人口の増加、周遊型観光の推進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算				49,500	
		補正予算					
		前年度繰越					28,988
		翌年度繰越				▲ 28,988	
		その他増減					
	計	—	—	—	20,512	28,988	
	執行額				20,512	28,988	
執行率	—	—	—	100.0%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	佐仁地区休憩施設利用者数(トイレ・駐車場・広場)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]				3,000	5,000	
	実績 [単位:人]				0	2,300	
	達成度				0	46.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		令和4年度は本事業の着手年度であり、令和5年度中に完成予定である。					
【R5年度】		令和5年12月からの供用開始となったため、目標達成には至らなかった。利用者数実績(4ヶ月)から年間利用人数を推計すると、翌年度は達成が見込まれる。					
今後の取組方針	休憩施設の周知を行うとともに、佐仁地区の集落行事をはじめとする観光情報を発信し、観光交流人口の増加及び周遊型観光の促進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	高知山観光トイレ整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	町内屈指のビュースポットである高知山に観光トイレを整備し、周遊観光ルートとしての魅力を高め、交流人口の増加や観光の推進強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算				45,600	
		補正予算					
		前年度繰越					45,600
		翌年度繰越				▲ 45,600	
		その他増減					
	計	-	-	-	0	45,600	
	執行額					55,007	
執行率	-	-	-	-	120.6%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	瀬戸内町への年間の入込客数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]				130,000	150,000	
	実績 [単位:人]					136,818	
	達成度					91.2%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】 ※令和5年度へ繰越							
【R5年度】 令和4年度よりは増加しているものの、目標入込客数には届かなかった。R6.1月～3月のピーチ減便の影響も考えられる。							
今後の取組方針	令和5年11月に完成し利用を開始した。利用者が満足できる施設の維持管理にも留意しながら、今後も癒やしの島を満喫できるよう、各種施策と連携しつつ観光客の受入増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	西郷小浜公園整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	明治維新の立役者である西郷隆盛翁の龍郷町での2度目の潜居地を活用して公園整備事業を行うほか、西郷家の功績等の情報を発信するための拠点としても位置付け、観光客等の受入体制の整備や魅力ある観光情報の発信に向けた取組を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算				160,000	
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	30,200
		翌年度繰越				▲ 30,200	
		その他増減				155	
		計	-	-	-	129,955	30,200
	執行額				129,955	28,359	
	執行率	-	-	-	100.0%	93.9%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	イベント開催数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:回]					3	
	実績 [単位:回]				0	2	
	達成度				0	66.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		工事完了予定がR6年2月につき、評価不可					
【R5年度】		工事完了に伴い、八月踊り等のイベントを実施したが、目標の達成には至らなかった。					
今後の取組方針	今後は西郷隆盛ゆかりのイベントのほか、島唄イベント等を企画し、島内外から集客ができるよう、さらなる活用を検討していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	島唄、闘牛等の各種イベントの開催や特産品販売等を行える複合施設を整備し、交流人口の拡大を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		40,000	203,300	101,000	100,000
		補正予算			50,000		285,010
		前年度繰越		0	40,000	242,928	101,000
		翌年度繰越		▲ 40,000	▲ 242,928	▲ 101,000	▲ 385,010
		その他増減					
		計	-	0	50,372	242,928	101,000
	執行額			49,532	243,227	104,483	
	執行率	-	-	98.3%	100.1%	103.4%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】			130,000		132,000	
	実績 【単位:人】		80,480	90,807	120,177	131,295	
	達成度			69.9%		99.5%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に入込客数が減少となった。事業計画の再検討に伴い、全額を翌年度へ繰越。				
		【R3年度】	昨年度より繰越した設計業務等を完了し、一部の工事着手済み。次年度へ全額を繰越し、整備が本格的に開始する。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
【R4年度】		整備が本格的に開始。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。					
【R5年度】		1階躯体工事について2/3が完了した。(残はR6年度予算にて完了。) 施設が完成していないため達成状況に直接的な影響はないが、コロナ禍以降、入込客数は回復傾向にある。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、共用開始後の目標達成に向け、事業推進を図る。					
今後の取組方針	早期の事業着手、計画的な予算執行に努め、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産登録やコロナ禍からの回復による観光需要の増加を見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10、6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに位置付けられた重点三分野(「農業」「観光／交流」「情報」)に、「文化」「定住」の二分野を新たに加え、奄美群島一体となった施策の展開を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算	166,306	141,418	181,905	135,804	123,972	
	補正予算	0					
	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越	0					
	その他増減	0					
	計	166,306	141,418	181,905	135,804	123,972	
	執行額	132,430	122,931	166,332	134,338	122,531	
執行率	79.6%	86.9%	91.4%	98.9%	98.8%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	チャレンジ世代(20歳～44歳)人口					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			21,438		21,300	
	実績 [単位:人]	21,410	21,623	20,852	20,152	19,611	
	達成度			97.2%		92.1%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	チャレンジ世代(20～44歳人口)は減少の一途をたどっている。令和5年度の目標達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。				
		【R2年度】	実績はR2国勢調査の結果であり、令和元年度の推計値と同程度となっている。引き続き、奄美群島の産業振興を図っていく。				
【R3年度】		令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。					
【R4年度】		令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。					
【R5年度】		令和5年度の目標を達成していないが、引き続き人材の確保に努め、奄美群島の産業振興を図る。					
今後の取組方針	「奄美群島成長戦略ビジョン2033」に向け、引き続き各種事業を積極的に展開していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島民間主導型産業振興モデル構築支援事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに掲げた戦略の基本方策に基づき、民間主導型の新たな産業振興モデルを構築するための人材の確保、育成、教育を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算				19,554	16,489	
	補正予算	0					
	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越	0					
	その他増減	0					
	計	—	—	—	19,554	16,489	
	執行額				19,435	15,716	
執行率	—	—	—	99.4%	95.3%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]				10	20	
	実績 [単位:件]				9	15	
	達成度				90.0%	75.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】 島ちゅチャレンジ:募集件数42件 採択件数9件 事業完了9件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を行う「島サバクリエイティブGCD(ガシド)」を与論島にて開催した。 スタートアップ支援事業:クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(2件起案、調達金2,081,300円)							
【R5年度】 島ちゅチャレンジ:募集件数27件 採択件数6件 事業完了6件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を行う「島サバクリエイティブGCD(ガシド)」を徳之島にて開催した。							
今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島移住支援推進事業(R5) ②UIOターン支援体制構築推進事業(~R4)						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島における、人口流出及び高齢化による経済規模の縮小及び産業衰退への対応策として、奄美群島への人材の呼び込み促進に繋がる官民一体となった支援体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	5,169	4,279	5,355	6,124	4,382
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	5,169	4,279	5,355	6,124	4,382	
	執行額	4,577	3,321	4,179	5,891	4,208	
執行率	88.5%	77.6%	78.0%	96.2%	96.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			25		43	
	実績 [単位:人]	9	13 (4)	23 (10)	28 (5)	45 (17)	
	達成度			92.0%		104.7%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	令和3年度の目標のうち36%を達成している為、令和元年度の目標は達成されていると考えられる。				
		【R2年度】	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和元年度の実績の半分しか満たしておらず、令和3年度の間目標を達成させるための対応を検討しなければならない。				
【R3年度】		令和5年度の目標のうち5割を超えており、一定の成果は上がっている。今後は、オンラインや現地ツアーの開催を含めて情報を発信し、目標値を越せるよう対策を行う。					
【R4年度】		令和4年度は、現地ツアーやオンライン交流、移住フェアへの出展等情報発信を行ったが、前年度より移住者数が増加しなかったため、目標達成にむけ対応を検討していく。					
【R5年度】		令和5年度の目標値である43名に対し、45名と目標を達成することができた。ご家族で移住した方が2組いたことで全体の移住者数が増加することにつながった。今後も市町村と連携を図るとともに、年間を通じた移住支援の情報発信を行っていく。					
今後の取組方針	移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島における地域資源の保全と適正な管理を行い、地域が主体となって持続可能な観光形態を構築し、「環境保全」「地域振興」「観光振興」のバランスのとれた発展を目指すエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	18,389	23,275	23,829	19,508	17,879
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	18,389	23,275	23,829	19,508	17,879	
	執行額	18,148	23,243	12,512	19,503	17,353	
執行率	98.7%	99.9%	52.5%	100.0%	97.1%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		115			160	
	実績 [単位:人]	109	133	147	161	176	
	達成度		115.6%			110.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
		【R2年度】	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
		【R3年度】	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)				
【R4年度】		奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)					
【R5年度】		奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:15名)					
今後の取組方針	奄美群島認定エコツアーガイドの育成及び確保や、観光客増加に伴う各島の課題解決、特定自然観光資源の指定など、自然観光資源の保全、観光利用者の体験の質の確保について取組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島地域通訳案内士育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	近年の奄美群島の認知度の拡大及び、大都市圏国際空港からの直行便就航による交流人口の多様化に対応した受入体制の構築を図るため、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士を育成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	19,434	18,084	17,472	19,992	10,246
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	19,434	18,084	17,472	19,992	10,246
	執行額	19,279	17,699	19,522	19,958	10,231	
	執行率	99.2%	97.9%	111.7%	99.8%	99.9%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		153			186	
	実績 [単位:人]	129	129	159	185	185	
	達成度		84.3%			99.5%	
	達成状況 の 評 価	【R元年度】	奄美群島各島において地域通訳案内士育成研修を開催し、奄美群島地域通訳案内士の育成を図った。(英語:20名/中国語:2名)				
		【R2年度】	地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】40名(英語28名、中国語12名)				
【R3年度】		地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】30名(英語22名、中国語5名、韓国語3名)					
【R4年度】		地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】26名(英語20名、中国語4名、韓国語2名)					
【R5年度】		地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】31名(英語27名、中国語2名、韓国語2名)					
今後の取組方針	外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士育成を推進し、受け入れ態勢の強化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光物産広域連携事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	78,628	51,061	53,139	53,288	52,281
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	78,628	51,061	53,139	53,288	52,281	
	執行額	49,954	37,293	52,383	52,882	52,197	
執行率	63.5%	73.0%	98.6%	99.2%	99.8%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		359,780			386,251	
	実績 [単位:人]	391,969	301,523	406,750	493,193	450,813	
	達成度		83.8%			116.7%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	奄美群島への入込客数が年々増加している状況である。今後も、観光来訪の促進を図る。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により旅行客が大きく減少している。減少した客数の回復のためにも、来訪の推進が必要。				
【R3年度】		新型コロナウイルスの影響があったが、旅行客数は回復傾向にある。今後も客数増加に向け、来訪の推進が必要。					
【R4年度】		旅行客数は回復傾向。今後も客数増加のため、物産展や旅行説明会等の取組を進める。					
【R5年度】		コロナ感染症による影響を受け物産展等の開催回数の減少はあったものの、ECサイトの構築、物産展等を開催するとともに、大都市圏における旅行説明会や、FAMトリップの開催を通じ、旅行業者、一般消費者にそれぞれターゲットを絞ったアピールを実施出来た。併せて観光客の満足度等を図るためアンケートを引き続き実施した。					
今後の取組方針	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島の代表的な特産品である「奄美黒糖焼酎」を群島一丸となって、戦略的プロモーションを展開することで、「奄美黒糖焼酎」の認知度向上・販路拡大を図るとともに、プロモーション活動を通じて焼酎業界の産業振興を図り、人材の育成・確保を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算			9,600	7,100	6,144
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	9,600	7,100	6,144
	執行額			8,161	6,967	6,114	
	執行率	—	—	85.0%	98.1%	99.5%	
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美黒糖焼酎移出数量					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:kℓ]				7,500	7,800	
	実績 [単位:kℓ]			7,251	7,005	6,791	
	達成度				93.4%	87.1%	
	達成状況の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査や、LAサンプルショールームへの出展やSakeShochuMeetupへの参加といった海外でのPR活動を行うなど販路拡大や蔵元の人材育成を図った。また、海外輸出へ関心のある企業に対する相談支援を行った。				
		【R4年度】	黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査、ジャパンハウスロサンゼルスにおけるSavor Japanese Crafts Spirits!RECEPTIONでの黒糖焼酎ブース出展、海外バイヤー向けバーチャル蔵視察の実施及び、イタリアバイヤー招へい事業等の海外に向けてのPR活動を行った。				
【R5年度】		奄美黒糖焼酎事業者、関係者からなるワーキンググループにおいて海外販路拡大に係る会議を行い、JapaneseFoodExpoinLAおよびSakeFestivalへの出展、フランスバイヤーの招へいをを行った。					
今後の取組方針	黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光マスタープラン策定調査						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の生物多様性や地域文化を保全・継承しつつ、国立公園指定や世界自然遺産登録の効果を群島全体に波及させるため、令和5年度に「奄美群島の持続可能な観光振興戦略(仮称)」を策定し、奄美群島の持続可能な観光振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算				10,238	12,360
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	-	10,238	12,360	
	執行額				9,702	12,614	
執行率	-	-	-	94.8%	102.1%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]					950,000	
	実績 [単位:人]				685,944	823,238	
	達成度					86.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		令和5年度で奄美群島の観光計画の策定に向けて、観光関係団体や民間事業者を対象に、ヒアリングや意見交換会を行った。また、奄美群島及び各島の観光関連の計画の調査、有識者による現地視察を行い、奄美群島全体で目指す観光振興の方向性、取り組むべき観光振興策や観光振興の課題等を把握した。					
【R5年度】		奄美群島全体の観光に関する方向性についてのマスタープラン策定の為策定委員会の設立を行い各島での現状や課題を基にマスタープランを策定した。					
今後の取組方針	奄美群島の観光計画の策定し、持続可能な観光振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島歴史文化活用事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の歴史・文化(島唄やシマフトゥバ等)をテーマとした学習活動や継承、多世代が連携し、地域の課題解決や住民の夢を実現を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算					4,191
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	-	-	4,191	
	執行額					4,099	
執行率	-	-	-	-	97.8%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]					950,000	
	実績 [単位:人]					823,238	
	達成度					86.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】 支援件数5件であり、地域住民が奄美固有の自然環境や方言を学習する取組みに対して支援した。							
今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美の冬場でも温暖な気候を生かし、官民一体となったスポーツ合宿誘致を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算			10,000	10,000	5,000	
	補正予算	0					
	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越	0					
	その他増減	0					
	計	-	-	10,000	10,000	5,000	
	執行額	0	0	8,393	10,000	5,000	
	執行率	-	-	83.9%	100.0%	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			12,000		13,000	
	実績 [単位:人]			9,524	14,372	15,535	
	達成度			79.4%		119.5%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	キャンプが継続して実施されるよう、ニーズに対しきめ細やかに対応した。また、国内主要大会へ出向き、来島チームの激励と合わせ、新たなキャンプチームの誘客活動を実施した。さらに、業務委託により市受け入れ体制の再構築に向け、全国のスポーツコミッションに対し、運営体制や抱える課題等についてアンケート調査を実施した。本事業により、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進することができた。				
		【R4年度】	スポーツキャンプを通じた交流人口の拡大に向け、チームのニーズにきめ細やかに対応した。また、キャンプの継続に向けた国内主要大会におけるキャンプチームの激励と合わせて本市の特設ブースを出展し、情報発信に努めるとともにさらなる誘客拡大を図った。				
	【R5年度】	目標を大きく上回り、達成度は119%となった。これまでの取り組みの成果が出ていると考える。これからも引き続き取り組みを実施していくとともに、受け入れ側と来島者側のバランスを考慮しながら、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進していきたい。					
今後の取組方針	これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ボランティア体験ツアー事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	ヨロンマラソンの開催準備等を行うボランティア体験モニターツアー等を実施し、地域住民との交流促進による地域活性化、大会のサービスの質の向上を目指すとともに、ヨロンマラソンを活用した新規旅行者やボランティア体験を目的とした新しい客層の誘客を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算					1,700
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	-	-	-	1,700	
	執行額					1,700	
執行率	-	-	-	-	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論島への入込客の増加数(ボランティア体験モニターツアー参加者)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]					28人	
	実績 [単位:人]					32人	
	達成度					114.3%	
	達成状況 の 評 価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】		ヨロンマラソン前後の期間に実施したボランティア体験モニターツアーへ32人(学生29人、一般3人)が参加し、ボランティア不足を解消するとともにボランティアを通じた住民との交流により地域活性化が図られた。					
今後の取組方針	R5年度実施により、ボランティア体験ツアーは学生のニーズが高く、大会運営に関する地域の負担軽減や活性化が見られたことから、継続に向けて受入体制の整備や財源確保等を進めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	防災関連施設整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美市外7町村	実施市町村名	奄美市外7町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 イ.防災対策の推進に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	避難所機能(集会場や公民館等)の向上を目的とした整備や防災拠点施設等の整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	61,100	231,606	187,835	0	379,927
		補正予算	457,900	795,098	615,086	338,564	51,824
		前年度繰越	1,027,848	457,900	1,019,204	777,351	356,918
		翌年度繰越	▲ 457,900	▲ 1,019,204	▲ 777,351	▲ 356,918	▲ 348,631
		その他増減	0	45,715			
		計	1,088,948	511,115	1,044,774	758,997	440,038
	執行額	1,077,669	492,609	994,429	726,053	440,348	
	執行率	99.0%	96.4%	95.2%	95.7%	100.1%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 (R5年度目標はデジタル無線での整備率を加味した目標) ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			①100% ②62か所		①83% ②41か所	
	実績	①99% ②142か所	①100% ②93か所	①100% ②76か所	①100% ②73か所	①100% ②70か所	
	達成度			①100% ②122.6%		①100% ②170.7%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	着実に要修復箇所の整備が進められている。				
【R3年度】		着実に要修復箇所の整備が進められている。					
【R4年度】		着実に要修復箇所の整備が進められている。					
【R5年度】		着実に要修復箇所の整備が進められている。					
今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい離島留学推進事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	大和村外6町村	実施市町村名	大和村外6町村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島における将来の産業の担い手確保等を図るため、本土等の児童生徒が奄美の自然や文化を肌で感じられるような奄美らしい離島留学の機会を創出するために必要な施策の実施を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	27,500	43,471	53,366	42,980	59,598
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	27,500	43,471	53,366	42,980	59,598	
	執行額	24,786	39,338	46,685	41,228	62,581	
執行率	90.1%	90.5%	87.5%	95.9%	105.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	留学生人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			40		50	
	実績 [単位:人]	68	74	68	71	78	
	達成度			170.0%		156.0%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	令和元年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は68人であり、中間目標値を上回った。				
		【R2年度】	令和2年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は74人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。				
【R3年度】		コロナ禍により、事業が実施できなかった自治体もあったが、中間目標値を上回る結果となった。					
【R4年度】		令和4年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は71人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。					
【R5年度】		令和5年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は78人であり、目標値を上回った。					
今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヤギ被害防除対策事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町	実施市町村名	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	ノヤギ駆除を行うことで、希少植物の食害や、それに伴う土砂災害、赤土流出による海洋汚染などを防止し、世界自然遺産候補地となっている奄美の自然生態系を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	9,446	10,189	10,233	10,087	10,298
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	9,446	10,189	10,233	10,087	10,298
	執行額	9,454	9,285	8,948	9,803	8,596	
	執行率	100.1%	91.1%	87.4%	97.2%	83.5%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:頭]			205		165	
	実績 [単位:頭]	265	255	251	268	201	
	達成度			122.4%		121.8%	
	達成状況 の 評 価	【R元年度】 令和元年度のノヤギの捕獲頭数は265頭であった。					
		【R2年度】 令和2年度のノヤギの捕獲頭数は255頭であった。					
【R3年度】 令和3年度のノヤギの捕獲頭数は251頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。							
【R4年度】 令和4年度のノヤギの捕獲頭数は268頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。							
【R5年度】 令和5年度のノヤギの捕獲頭数は201頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。							
今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	サンゴ礁保全対策事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村、奄美群島サンゴ礁保全対策協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	世界自然遺産登録に向けて、オニヒトデ駆除、モニタリング調査を行うとともに、サンゴの再生の手法について調査研究を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	21,957	21,869	26,137	31,056	31,044
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	21,957	21,869	26,137	31,056	31,044
	執行額	21,643	21,580	25,597	30,964	30,827	
	執行率	98.6%	98.7%	97.9%	99.7%	99.3%	
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記。))と比較して5%以上、上昇した箇所数 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度が60%以上の箇所数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			H28※→R3 ①106箇所以上 ②27箇所以下 ③54箇所以上		H28※→R5 ①120箇所以上 ②11箇所以下 ③73箇所以上	
	実績	①58箇所 ②15箇所 ③19箇所	①51箇所 ②10箇所 ③20箇所	①40箇所 ②17箇所 ③21箇所	①51箇所 ②15箇所 ③33箇所	①53箇所 ②22箇所 ③33箇所	
	達成度			①37.7% ②158.8% ③38.9%		①44.2% ②200.0% ③45.2%	
	達成状況の評価	【R元年度】	令和元年度の実績はそれぞれ①58か所、②15か所、③19か所であった。				
		【R2年度】	令和2年度の実績はそれぞれ①51か所、②10か所、③20か所であった。				
【R3年度】		令和3年度の実績はそれぞれ①40か所、②17か所、③21か所であった。オニヒトデ等の駆除及びモニタリングを実施し、また、再生試験を実施することで、サンゴ礁の白化等の状況を把握することが出来た。目標に至らなかった要因としては、海水温の上昇、赤土の流出等があげられる。					
【R4年度】		令和4年度の実績はそれぞれ①51か所、②15か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。					
【R5年度】		令和5年度の実績はそれぞれ①53か所、②22か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。					
今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ネコ対策事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美大島5市町村 徳之島3町	実施市町村名	奄美大島5市町村 徳之島3町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	ノネコ対策と、その発生源対策を並行して実施することにより、アマミノクロウサギ等の希少野生動物の被害を防止し、独自の在来生態系の保全に資する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	当初予算	65,472	68,235	68,041	91,213	96,415	
	補正予算	0					
	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越	0					
	その他増減	0	1,350				
	計	65,472	69,585	68,041	91,213	96,415	
	執行額	53,648	66,524	67,124	90,701	92,671	
	執行率	81.9%	95.6%	98.7%	99.4%	96.1%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]			1,300		1,030	
	実績 [単位:件]	1,256	977	786	828	669	
	達成度			60.5%		65.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和元年度のネコの不妊手術件数は1,256件であった。				
		【R2年度】	令和2年度のネコの不妊手術件数は977件であった。				
【R3年度】		令和3年度のネコの不妊手術件数は786件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。					
【R4年度】		令和4年度のネコの不妊手術件数は828件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。					
【R5年度】		令和5年度のネコの不妊手術件数は669件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。					
今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美大島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美大島自然保護協議会	実施市町村名	奄美大島5市町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美大島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除を行い、奄美大島の希少な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	8,200	8,200	12,400	12,400	12,400
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	8,200	8,200	12,400	12,400	12,400	
	執行額	8,200	8,200	12,400	12,400	12,400	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	パトロール1回あたりの希少種確認種数の積み上げ					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:種]			1,000		1,000	
	実績 [単位:種]	3,083	3,163	7,000	7,000	7,000	
	達成度			700%		700%	
	達成状況の評価	【R元年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。 【R2年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。 【R3年度】 令和3年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。 【R4年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。 【R5年度】 令和5年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。					
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	徳之島3町		実施市町村名	徳之島3町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	徳之島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除、普及啓発を行い、徳之島の気象な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算	0	0	0	8,750	8,696
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		-	-	-	8,750	8,696
	執行額		0	0	0	8,352	8,318
執行率		-	-	-	95.5%	95.7%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標	[単位:%]				40	50
	実績	[単位:%]			0	31.5	31.0
	達成度					78.8%	62.0%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
【R4年度】			盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
【R5年度】			盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島加工品販路拡大支援実証事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	奄美市他4町村	実施市町村名	奄美市他4町村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業	交付率	5/10				
事業内容	奄美群島において、農林水産物を活用した加工品や伝統工芸品などの群島外への販路拡大に係る経費を補助するとともに、地域の特性を生かした商品の販路拡大に取り組む人材の育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		13,374	14,259	13,230	11,969
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		15			
	計	-	13,389	14,259	13,230	11,969	
	執行額		7,944	10,241	12,076	12,136	
執行率	-	59.3%	71.8%	91.3%	101.4%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	補助申請件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:件】	0		20		32	
	実績 【単位:件】		21	26	32	28	
	達成度			130%		87.5%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】	事業の周知の遅れ等はあったものの令和2年度は21件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
【R3年度】		令和3年度は26件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。					
【R4年度】		令和4年度は32件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。					
【R5年度】		令和5年度は28件の申請件数があり目標を下回る実績となった。					
今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へつなげ、事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産物流通支援事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美市外5町	実施市町村名	奄美市外5町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 オ.林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、奄美群島における水産業の振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	14,131	10,879	13,244	11,267	10,602
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	6			
	計	14,131	10,885	13,244	11,267	10,602	
	執行額	9,619	8,673	7,705	8,539	10,350	
執行率	68.1%	79.7%	58.2%	75.8%	97.6%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:トン]			616		643	
	実績 [単位:トン]	1,078	974	909	1,013	1,147	
	達成度			147.6%		178.4%	
	達成状況 の 評 価	【R元年度】	令和元年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,078トンであり、中間目標値を上回った。				
		【R2年度】	令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は974トンであり、コロナ禍の影響により前年度よりは減少したものの中間目標値を上回った。				
【R3年度】		令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は909トンであり、R2年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。					
【R4年度】		令和4年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,013トンであり、R3年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。					
【R5年度】		令和5年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,147トンであり、目標値を上回った。					
今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村、奄美群島水産振興協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦オ. 林業及び水産業の振興に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	地域特産水産物であるシラヒゲウニ・ヤコウガイ等の資源回復や漁業生産の安定を図るため、種苗生産技術の導入、種苗生産体制の確立、藻場の回復を図るとともに、安定供給が可能となる養殖について検討を進める。また、漁港の製氷施設など漁業関連施設の整備等を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	0	108,100	39,559	11,472	16,644
		補正予算	4,840		45,000		
		前年度繰越	0	4,840	100,500	62,568	0
		翌年度繰越	▲ 4,840	▲ 100,500	▲ 62,568		
		その他増減	0				
	計	0	12,440	122,491	74,040	16,644	
	執行額	0	8,521	129,892	73,235	15,103	
	執行率	—	68.5%	106.0%	98.9%	90.7%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:百万円]			10,329		10,382	
	実績	7,635		8,471	9,005	10,840	
	達成度			82.0%		104.4%	
	達成状況 の評価	【R元年度】	海面漁業の生産額1、202百万円＋クロマグロ養殖生産量6、433百万(固定)であり、カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症拡大のため、業者打合せ等が難航したことにより、製氷機設備改修工事の実施設計等の事業計画を翌年度に繰り越すこととなった。				
【R3年度】		新型コロナウイルス感染症拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。					
【R4年度】		新型コロナウイルス感染症の影響が下火になり、需要の回復によるものと考えられる養殖生産額の増加により、実績値は前年度比約106%となった。					
【R5年度】		需要回復によるものと考えられる養殖生産量及び生産額(主にクロマグロ、カンパチ)の増加により、目標値の約104%となった。					
今後の取組方針	シラヒゲウニについては、これまで実証試験等で集積した知見をもとに種苗生産に関するマニュアルを作成し、関係者に配布した。今後種苗生産を要望する地域がある場合は、マニュアル等をもとに各自治体で検討する。 ヤコウガイについては、種苗生産試験を複数回実施したものの、目的としていた結果は得られず、現地での種苗生産は困難であることが判明した。現状の資源状態を悪化させないよう、資源管理や漁業生産の安定を図る取り組みについて引き続き検討を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携情報発信事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	あまみ大島観光物産連盟	実施市町村名	奄美大島5市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の各観光拠点について、連携したPR・情報発信を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	10,000	10,000	10,000	10,000	13,000
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	10,000	10,000	10,000	10,000	13,000
	執行額	10,000	10,000	1,000	10,000	13,000	
	執行率	100.0%	100.0%	10.0%	100.0%	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度 (大変満足のシェア)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:%]	64	66	68	63.5	64	
	実績 [単位:%]	59	62.2	47.7	45.5	48.5	
	達成度	92.1%	94.2%	70.1%	71.6%	75.8%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】	満足度調査の項目で、「交通:二次交通や特産品:お土産」への不満足意見が多く、離島がゆえに全体の目標達成に至っていない。				
		【R2年度】	前年度と比較し全体満足度含む8項目で満足度がやや向上しておりコロナ禍においてもホスピタリティの水準を落とすことなくサービスの提供を行えた。				
		【R3年度】	前年度と比較し全体的に満足度が低下しており、満足度調査の項目で「宿泊、食事お土産、交通」への不満足意見が多く、全項目において目標達成に至っていない。不満足意見が多い要因として、コロナ感染拡大による来島自粛の要請や休業・時短要請が影響としたと考えられる。				
		【R4年度】	前年度と同様に満足度は低下している。新型コロナウイルスの感染拡大により飲食店などでは島内客のみの営業を行うところも見受けられた。また、閉鎖している施設が多かったことも要因と考えられる。				
【R5年度】		満足度についてはやや改善したが、目標値と比較すると依然低いままである。特に、引き続き「交通」への満足度の低さが顕著。一方「宿泊・飲食」についてはやや改善傾向。新型コロナの落ち着いたに伴い島外客も利用しやすくなったことが要因と考えられる。					
今後の取組方針	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	本場奄美大島紬生産流通活性化事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	本場奄美大島紬産地の生産状況と流通体制の現状を正確に把握した上で、今後の施策を盛り込んだ「第2期産地再生計画」を策定する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		0	6,200	2,200	1,106
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		0			
	計	-	-	6,200	2,200	1,106	
	執行額		0	5,179	1,948	1,106	
執行率	-	-	83.5%	88.5%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:反】			3,874	3,874	4,648	
	実績 【単位:反】			3,290	2,960	2,710	
	達成度			84.9%	76.4%	58.3%	
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】 3,290反 (達成率参考)令和3年度目標3,874反に対する達成度は85%であった。 本事業により、翌年度以降に実施する各種施策の指針となる、「第2期本場奄美大島紬産地再生計画」を策定することができた。							
【R4年度】2,960反 (達成率参考)令和4年度目標3,874反に対する達成度は76%であった。 令和5年1月15日～16日:東京奄美会の賀詞交歓会とあわせて東京で新春販売会を行い、2反1,204,000円の売上や、大島紬への理解を深める機会の創出につなげた。 令和5年2月13日～15日:島外和装関係者を対象にモニターツアー(産地見学会)を実施、16社24名に来島いただいた。年に1回の「本場奄美大島紬グランプリ」と同時開催して審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。							
【R5年度】2,710反 (達成率参考)令和5年度目標4,648反に対する達成度は58.3%であった。 令和5年12月10日:奄美群島日本復帰記念式典に合わせて東京販売会を行い、奄美出身者との親睦を図るとともに、大島紬の販売促進を図ることができた。 令和6年2月12日～14日:福岡県久留米市にて産地視察を実施、他産地の販売方法、製品の作製状況、市場開拓の仕組み、織物産地としての活動状況等を視察し、今後の大島紬の流通の活性化につなげていくヒントを得ることができた。 令和6年2月19日～21日:島外和装関係者を対象にモニターツアーを実施、12社15名に来島いただいた。昨年同様「本場奄美大島紬グランプリ」の審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。							
今後の取組方針	令和3年度策定の「第2期産地再生計画」を基に、島内外での販路開拓事業を展開するとともに、認知度向上、需要喚起を図るためのPR事業も展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	宇検村医療体制強化事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	⑦ウ 医療の確保に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	村内唯一の医療機関であり住民の日常を支える重要な役割を果たす診療所について、地域住民が安心できる永続的な診療体制を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算				13,674	273,548
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	9,940
		翌年度繰越				▲ 9,940	▲ 164,048
		その他増減					
		計	-	-	-	3,734	119,440
	執行額				3,734	118,740	
	執行率	-	-	-	100.0%	99.4%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	受診患者件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]		4,000		4,400	4,800	
	実績 [単位:件]				6,239	10,047	
	達成度				141.8%	209.3%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		R5建設に向け、実施設計が終了。					
【R5年度】		施設整備に着工。令和6年12月の開院に向けて事業推進中。					
今後の取組方針	現在施設整備中。令和6年12月の開院に向けて事業を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業		交付率	5/10			
事業内容	与論町在住の中学生、高校生及び成人を対象に、島外研修を含む海洋教育プログラムによるPBL(Project Based Learning/問題解決型学習)の実施による人材育成を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算		0	2,000	4,300	4,510
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越		0			
		その他増減					
	計	-	-	2,000	4,300	4,510	
	執行額			2,000	4,300	4,510	
執行率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:件】	0			3	3	
	実績 【単位:件】			4	4	3	
	達成度				133%	100%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】	人材育成講座を実施し14名が受講。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2022)では16名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。				
		【R4年度】	人材育成講座(定員8名)を実施し8名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2023)では8名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R3年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。				
		【R5年度】	人材育成講座(定員8名)を実施し10名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2024)では6名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R4年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。(3名に伴走支援を実施)				
今後の取組方針	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	政策連携による多様な働き方モデル創出事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	これまで様々な政策において支援してきたICT事業者及びその従事者、フリーランス、創業者など多様な働き方と誘致してきた企業による政策間の連携を図りながら、「WorkStyle Lab」にて多様な働き方を推進していく。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算				20,000	8,760
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	-	20,000	8,760
	執行額				19,278	8,642	
執行率				96.4%	98.7%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	『経済センサス基礎調査』の事業所数総数を指標とし、目標値は目標年度に公表される数値とする。					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]	2,672			2,670	2,680	
	実績 [単位:件]				-	-	
	達成度				-	-	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
【R4年度】		個別事業の実績については、創業支援・フリーランス支援、ICT活性化など、人材育成やスキルアップに向けた支援を計画通り実施することができた。					
【R5年度】		事業全体の成果目標に対する達成状況は、R6年度に実施される経済センサス基礎調査をもって評価することとするが、個別事業に関しては、9名の創業者の創出や68名の方へのフリーランス支援の実施、また、伴走型支援のデジタルマーケティングスキル習得事業として14名の方への支援に対し、満足度は9割以上が「満足した」という評価の高い結果となった。					
今後の取組方針	民間事業者との連携や、各個別事業間の連携を図り、市内事業者やフリーランス、創業者などの求めているニーズ把握に努め、より内容の充実した人材育成等の支援を実施できるよう事業を展開するとともに、事業最終年度となるR6年度は、事業実績についての効果測定を実施し、民間事業者主導でできる部分と、行政として支援が必要な部分を整理する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	Uターン促進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	人材の確保及び人口増を図るため、瀬戸内町出身者で進学・就職等のために町外で居住していた者が定住の意思を持って本町に転入した際に就職・開業等に必要となる資格取得に係る経費の一部を助成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算				1,000	300
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	—	—	1,000	300	
	執行額				297	0	
執行率	—	—	—	29.7%	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	生産年齢人口(人数)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		4,455		4,465	4,475	
	実績 [単位:人]				4,188	3,888	
	達成度				93.8%	86.9%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】		目標値に対しては及ばなかったものの、3名の資格取得支援を実施し、Uターン者獲得につながった。					
【R5年度】		HP等で周知したもののUターン者の実績は0件であった。生産年齢人口(人数)については、総人口の減にともない、未達成となった。					
今後の取組方針	R6年度も継続して事業を実施しUターン者の増加に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島12市町村	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦キ. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者等への利子補給金に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者を対象に、3年間の利子補給を実施し、投資資金や運転資金の確保を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース	令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度						
	予算 の 状 況	当初予算			30,003	57,971	50,785
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	-	30,003	57,971	50,785
	執行額				7,570	57,359	50,719
	執行率		-	-	25.2%	98.9%	99.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島における総生産額					
	令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度						
	目標 【単位:百万円】						344,123
	実績 【単位:百万円】		339,429				
	達成度						
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定							
【R4年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定							
【R5年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定							
今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICTを活用した教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	ICTを活用したインターネット塾の開講により、保護者の経済的・時間的・身体的負担を軽減させ、定住促進を図るとともに、村の生徒の学習機会の条件不利性を解消させ、地域を支える人材の確保・育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		5,000	7,700	3,614	2,500
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	—	5,000	7,700	3,614	2,500	
	執行額		3,485	2,582	3,284	2,026	
執行率	—	69.7%	33.5%	90.9%	81.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	インターネット塾受講人数(累計)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	13		35		53	
	実績 [単位:人]		14	20 (6)	29 (9)	31 (2)	
	達成度			57.1%		58.5%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	前年度までは受験生である中学3年生のみを受講対象としていたが、基礎的学力の向上を図るため、R2年度より全学年を対象に開講したことにより、1、2年生の基礎学力の向上が図られるとともに勉強に向き合う「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の受講生本人の「人間力」の向上にも繋がるのが期待出来る。				
【R3年度】		引き続き全3学年を対象に開講したことにより、3年生の受験対策が図られた他、1、2年生の基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がるのが期待出来る。					
【R4年度】		引き続き全3学年を対象に前年度と同じく3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上を目指して、例年通り開講する予定であったが、コロナ禍の影響により授業様式を集団から個人へ変更を行った。環境の変化はあったものの、生徒が勉強に向き合う環境作りをしたことで、今後の生徒の「人間力」の向上に繋がるのが期待出来る。					
【R5年度】		引き続き全3学年を対象に開塾した。3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来た。また、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がるのが期待できる。					
今後の取組方針	R5年度は前年度と比較して人数が減少している。本事業を開始したH29年度と比較すると参加人数は減少傾向にある。今後、本事業の方針や生徒の「人間力」が将来において、必要とされる事を保護者に伝え、理解していただき生徒の参加を促す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島日本復帰70周年事業 離島甲子園in奄美						
担当部課	—	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島日本復帰70周年記念事業として「全国離島交流中学校野球大会事業」を奄美群島で初めて開催する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					14,300
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	—	—	—	14,300	
	執行額					14,302	
執行率	—	—	—	—	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	当該大会がもたらす経済効果					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:千円]					64,029	
	実績 [単位:千円]					80,300	
	達成度					125.4%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】 大会には過去最多の25チームが参加し、目標の1.25倍の経済効果を地元にもたらすことができた。							
今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	リュウキュウアユ保護増殖事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和5年度				
事業主体	奄美大島自然保護協議会ヤジ分会	実施市町村名	奄美市, 宇検村, 龍郷町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業	交付率	5/10				
事業内容	世界的にも奄美大島にだけ生息するリュウキュウアユは、奄美の世界自然遺産としての価値を構成する希少種・固有種であり、大変貴重な存在である。本事業の実施により、リュウキュウアユの種の保存並びに保護が図られ、世界自然遺産としての価値を維持することが期待される。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算					6,456
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	—	—	—	6,456	
	執行額					6,456	
執行率	—	—	—	—	100.0%		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①養殖リュウキュウアユの死亡率(5月～10月) ②水生移入生物の駆除数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標					①40.00% ②100	
	実績					①91.49% ②8匹	
	達成度					①未達成 ②8.00%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】		①目標を上回る死亡率となっており、養殖個体数は大きく減じた。 ②目標を大きく下回る達成度だが、水生移入生物の駆除を平成28年度から継続していることから、外来種の個体数が順調に減っていることが要因であると考えられる。					
今後の取組方針	①天然のリュウキュウアユを採捕することで、養殖個体数の増加及び死亡率の減少に努める。 ②水生移入生物の駆除により、天然のリュウキュウアユが生息する環境に改善に貢献できていると考えられるため、今後も継続する。						